

□服部正さんを励ます会

## 退院も間近となり 参加者も感激！



元気になられた服部正さん。多くの人の励ましを受けて新たな人生のスタートを切る。(右が清美夫人)

2年前、脳梗塞で倒れ、死線をさまよう激烈な闘病生活を送り苦しいリハビリテーションに耐え、待望の退院も間近になった神戸芸術文化会議議長、松陰女子学院大学教授の服部正先生を励ます会が9月24日ホテルオークラ平安の間で開かれた。

この日は先生の闘病を献身的に看護しつづけ共に苦難を乗り越えてきた清美夫人の第4回目の個展の御祝いでもあり、御夫妻にとっては二重の御祝いとなった。

つめかけた180名の参列者が手に手にカーネーションを持って待ち受けるフラワーロードを車椅子に座って清美夫人と共に入場される先生の本当に嬉しそうなお顔、お元気な様子に一同感激。

このパーティーの実現に多大のご支援をいただいたコナミ工業㈱の上月景正会長の御祝いの言葉につづいてマイクを握った服部正先生は2年間のブランクを一気に埋めるようにユーモアを交えながら病を通じてのご自分の死生感を熱弁。

浦山弘三、岡田征士郎両先生の歌のプレゼントに続いて、最後は清美先生のリードで全員合唱。嬉しい閉幕となった。

(島田誠・海文堂書店社長)

# □ドイツ統一記念を祝うパーティー 新ドイツと神戸は 一層深く交流を



右上はドイツ統一を記念して乾杯するパウマン氏と笹山市長 左上は宮崎前神戸市長を囲んで  
右下パーティー風景 左下は挨拶をのべるパウマン氏

十月三日、神戸市立相楽園会館においてドイツ統一の日を記念して、「ドイツ統一記念パーティー」が開催された。

四〇〇名以上がこのパーティーに出席し、関西在住のドイツ人はもちろん、愛知県以西沖縄県までのドイツ人が出席。また、宮崎県雄前神戸市長をはじめ、三露嘉郎兵庫副知事、中川和雄大阪府副知事、関西経済連合会の大角専務理事など各界のトップが出席された。会場では、ドイツとはゆかりの深い、神戸在住の指揮者、朝比奈隆氏の姿もみうけられた。

笹山神戸市長は、「神戸は長く我が国における日独交流の拠点のひとつとして両国の親善、協力関係の発展に努めてきましたが、今日両国は平和で豊かな国際社会を築く上で大きな責任をもっています。今後お互いに協力し、協調していく姿勢を増していくと思います」とお祝いの言葉をのべた。

ドイツ連邦共和国総領事のエーバハド・パウマン氏が「新しいドイツ国家は緊張状態の産物になるのではなく緊張が解けた結果でありたいものです。そしてヨーロッパ、ソ連など、世界の国々とうまく調和をとりながら、新しい国づくりに努めていきたい」と挨拶した後、全員でドイツワインで乾杯し統一の日を祝った。



## 第14回井植文化賞表彰式

話題のひろば

<IV>

□第14回井植文化賞表彰式

## 今年は 国際色豊かに



(上) 井植文化賞表彰式 (挨拶をする井植理事長) (下) 受賞者の皆さん

10月13日、財団法人井植記念会（井植貞雄理事長）主催の「第14回井植文化賞」の表彰式が、井植記念館（神戸市垂水区）で行われた。

この賞は、三洋電機㈱の創設者、故・井植歳男氏の私財をもとに設立されたもので、毎年、文化芸術、科学技術、社会福祉、地域活動、報道出版、国際交流の六部門にわたって個人あるいは団体が顕彰されている。

今回の受賞者は、菅沼潤氏（演出家―文化芸術）、安田武司氏（神戸大学農学部助教授―科学技術）、神戸いのちの電話（社会福祉）、松島興治郎氏（豊岡市教育委員会コウノトリ飼育員―地域活動）、神戸新聞社「火輪の海」取材スタッフ／NHK神戸放送局「メダルは笑顔に輝いた」（報道出版）、コミュニティハウスアンドインフォメーションセンター（国際交流）の三個人四団体。

井植理事長は、これまでに83個人・団体が受賞したことに触れ、賞が高く評価されて来たと挨拶。また受賞者代表として、熱帯有用植物学に取り組む安田さんは、「今後も都市と緑の問題に取り組む、地域社会と関って行きたい」と、受賞を機として、さらなる意気込みを披露。表彰式のあと、祝賀のパーティーがもたれた。



「タンポポの囁き・草上」 工藤雅子・作  
(油絵) 二紀会同人

“自由に飛びまわるタンポポの架(わた)を追っかけていると、おとぎの国に吸いこまれそうな気になって……” 夢とロマンを求めて、今日も描きつづける私です。

(柿沼産婦人科に展示11/1～11/30)

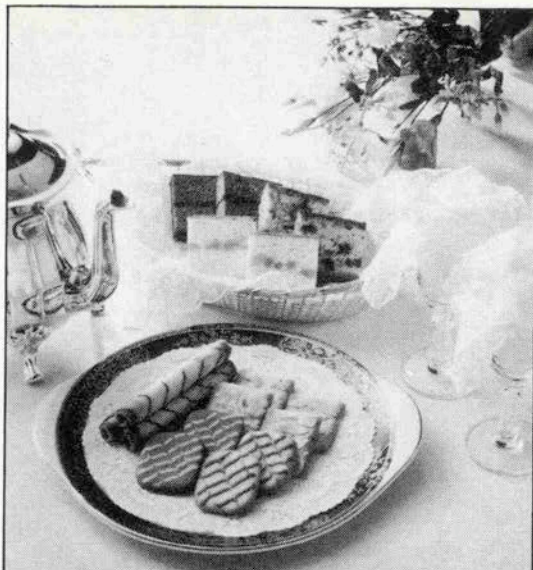
## 芦屋 柿沼産婦人科

★健保適用 産婦人科・内科(女性専科)



阪神芦屋駅北へ1分・芦屋警察署東隣り  
☎(0797) 31-1234 (FAX兼用)

当GALLERYに掲載ご希望の方は月刊神戸っ子まで御連絡下さい。



## SWEET SELECTION

時の流れがやさしくなる。

目まぐるしく過ぎてゆく時をOFFにして  
親しい人と語り合ったり、ひとりの時間を楽しんだり……。  
ユーハイムは心うるおう時間を、やさしく華やかに演出する  
たくさんのお菓子をセレクトしました。  
この冬はあなたの大切な人に  
ちょっと贅沢な心の時間、さしあげてみませんか。



ユーハイム



□ワインを語る

# 神戸ワインサロンのこと

長 島 隆

△(株)六甲牧場会長▽

私がワインを飲むようになったのは、今からほぼ20年前——ちょうど、日本でワインがぼつぼつと飲まれた頃であった。それまでは、一般的には余り浸透していなくて、一部の人がレストランなどで飲んでいる程度だったと思う。最初の頃は、よくご存じの方に勧められるままに飲んでいった。これが美味しいとかいうよりも、口当りがよくて飲みやすいものを選んでいただいていたようだ。その頃は、ワインを飲むということが、殊更に楽しかった訳ではなかった。

ところが昭和52年頃、同好の士が集まって八神戸ワインサロンVを結成して、あろうことかこの私が会長を引き受けることになったのである。

断っておくが、私は決して、ワインに関して多くの知識を持っているとか、味や銘柄にはうるさいとか、そういう類いの人間ではない。ワインも好きだが、日本酒もビールも、同じように好きなのである。しかし、不思議なもので、それ以来、それが私の最大の愉しみとなってしまった。

神戸ワインサロンの会合は、毎月の下旬に開か

れる。現在、会員の数には45名で定着している。会合には大体いつも30名くらいが集まり、ワイン談義に花が咲く。会員の職業も、教授、公務員、画家、文化人など実に様々で、それぞれにバラエティに富んだ話題を提供して下さる。

長年ワインに親しんでこられた方ばかりなので味には、かなりうるさい方が多い。好みの産地によって大まかにグループ分けしてみると、フランス派、ドイツ派、アメリカ派——といった具合に一種の派閥のごとき趣きがある。それぞれが(フランス派ならフランスのワインが)一番だと信じているから、時には大論争に発展することもある。議論している本人は大いに真面目であるし、傍らで見ている我々も、それが結構面白かったりするのである。

時には思わぬ拾いものをするところがある。例えば、料理研究家でもあり、ご自身が料理人でもある奥村彪生さんに、持参の材料で「ワインに合う日本料理」を作っていただいたことがある。ワインに日本料理が……と半信半疑だった私たちも、



SAKKORO  
私たちは味わい・ライフを追求します

サッポロビール株式会社

Q:クレアの赤ワインは  
ドーシテ冷やすと  
オイシイの?



POLAIRE  
CLEA

希望小売価格(消費税込み)  
720ml ¥1,000  
360ml ¥500  
180ml ¥300

冷やしてサワヤカ・新しい赤ワイン  
ポレールワインクレア

飲酒は20歳を過ぎてから。

The Days Of  
Wine & Roses

Mercian  
wine  
spritzer

かるーい、やさしい、酔いごち。



メルシャン ワイン・スプリッツァー

ワインのおいしさとはんわり甘くさっぱりとした  
飲みごたえです。上品で爽やかな香りが特長の  
「おしゃれ」な低アルコール飲料です。アルコー  
ル分5%、きいちご・マスカット・カシスの3種、  
200ml。缶入り。  
希望小売価格 200円

食べてみて、なるほど、と思  
った。これは、不思議でも何  
でもない。日本料理とワイ  
ン、それぞれの味に通じてい  
る奥村さんだからこそのでき  
たことである。我々では、こ  
うはいかない。さすがだと思  
った。

ワインというものは、いく  
ら上質のものであっても、料  
理と合わなければ、いいワイ  
ンにはならない。それを上手  
に「結婚」させるのが、料理  
人の腕でありセンスである  
と思う。

———このように、神戸ワイ  
ンサロンに参加する限り、次  
は誰がどんな興味深い話を聴  
かせてくれるか、どんなこと  
をやってくれるかと、私の愉  
しみは尽きないのである。

これまでに会合で試飲した  
ワインは、およそ700種類以上  
にも上る。そこで仲間達とワ  
インを囲んで楽しめるひと時  
は、何にも代え難いように思  
える。してみればこの私も、  
相当のワイン党と言えるのか  
もしれない。

〈聞き書き・藤岡〉



●神戸ファッションデザインコンテスト&神戸ファッションクリエイターズ・ファッションショー

☆11月14日(水)

会場 田崎ホール・エスパメディア

入場料 無料・要申込 問い合わせ221-4121

主催 神戸市、神戸商工会議所、神戸新聞社



辻内 恵子

1956年、兵庫県生まれ。  
現在、エルジェンヌブランドのチーフデザイナー



泊三枝子

1955年、鹿児島県生まれ  
現在、イズムグループ㈱バイオ事業部チーフデザイナー。



山下 博子

1960年、兵庫県生まれ。  
現在、スチエッソブランドのデザイナー。



ヘルムト・ラングプロフィール  
1956年、オーストリアのウィーン生まれ。1979年、クチュールのアトリエをオープン。1989年、パリコレクションでデザイナーランキング世界4位



ベーター・佐藤プロフィール

1945年生まれ。東京アドデザイナーズを経て、1971年、イラストレーターとして独立。86年にベーターズ・ショップ・アンド・ギャラリーを開く。

株式会社 ワールド

代表取締役社長 畑崎 廣敏

神戸市中央区港島中町6丁目8-1

TEL (078) 302-3111

マドンナグループ

代表取締役社長 清水 善之

神戸市中央区小野柄通6丁目1-9

TEL (078) 251-6761

K・F・M

会長 藤本 ハルミ

神戸市中央区山本通2丁目13

クチュールマーガレット

TEL (078) 242-5690

婦人帽子

マキシ

代表取締役社長 渡辺 浩康

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13

TEL (078) 331-6711

株式会社 山勝真珠

代表取締役 山本 泉

神戸市中央区山本通2丁目5-3

TEL (078) 231-0051

株式会社神戸ドレス

代表取締役 荒津 正美

神戸市灘区大和町3丁目1-13

TEL (078) 851-0035

パリーシューズ工業所

代表者 清谷 泰夫

神戸市長田区細田町3丁目1-20

TEL (078) 691-2741

株式会社 シヤルドン

代表取締役 大久保 静江

神戸市中央区琴ノ緒町4丁目10-6

TEL (078) 222-7410

FAX (078) 222-7267



# K F F '90

アトリエ・トキコ

代表 高橋 泉

西宮市塩瀬町名塩1047  
TEL (0797) 61-0137

クチュール アトリエ

An Akemi

石原 曉美

芦屋市大樹町1-15  
TEL (0797) 31-1790

モードメイトミチコ

服飾デザイナー 藤井 美智子

神戸市東灘区本山北町5丁目13-11  
TEL (078) 431-8051

学校法人 田中千代学園  
田中千代服飾専門学校

理事長 田中千代  
学校長

芦屋市大原町21-15  
TEL (0797) 31-0601  
FAX (0797) 22-1548

学校法人 横田学園  
神戸服装専門学校

学校長 米谷 玲子  
神戸市灘区永手町2丁目3-17  
TEL (078) 851-3947



伊東タケシプロフィール

1954年、福岡県生まれ。1978年「ラッキーサマー・レディ」でプロデューサーを飾る。以降11年間、Tスクエアのオリジナルメンバーとして活躍中。

学校法人 福富学園  
神戸文化短期大学  
神戸ファッション専門学校

学校長 福富 芳美  
神戸市中央区国香通6丁目7  
TEL (078) 241-8611

## ●神戸ファッションフェスティバル

11月16日(金)～11月18日(日)

☆11月16日19:00 KFF 前夜祭

KOBE ファッションパーティー'90

<ウイナーワルツのタベ>

会場 神戸ポートピアホテル<大輪田の間>

主催 神戸ファッションパーティー実行委員会

◆一般公募にて抽選で招待

☆11月17日(土) 16:00/18:00

HELMUT LANG '91春夏コレクション

会場 アシックスアトリウム

協賛 トーアレディース、アシックス

入場料 5,000円

☆11月18日(日) 15:00/17:00

'91春夏コレクション6人のクリエイターとペーター

佐藤+伊東タケシ

会場 アシックスアトリウム

協賛 アシックス、アバン、イズム、ヴァレン、オールスタイル、ジャヴァ、ワールド

入場料 5,000円



岩田 明

1952年、大分県生まれ。  
1988年、㈱アバン入社。  
現在、ヴォートルブランドのチーフデザイナー。



梶野 加恵

1950年、島根県生まれ。  
1979年、㈱ヴァレン入社  
フォルプリングブランドのチーフデザイナー。



竹内 千香

1961年、愛知県生まれ。  
現在、ロートレアモンブランドのリーダー。

株式会社  
メンズハウスグループ

代表取締役 中村 元明

神戸市中央区三宮町1丁目8-1-116  
TEL (078) 331-3915

株式会社フタハト

取締役社長 赤崎 孝嗣

神戸市長田区西尻池町1丁目3-26  
TEL (078) 611-3811



# “ケアライン119” 始動中

## ——一人暮らしのお年寄りなどのSOS



橋本 明  
（社団法人家庭養護  
促進協会事務局長）



一人暮らしの病弱なお年寄りや、一人で生活をしている重度身体障害者にとっては、自分一人っきりの時に急病になったり事故にあったり、火災などの時にどうやって助けを求めたらよいかわかることが一番気がかりな事だろう。高齢化がすすむと一人暮らしのお年寄りは今後ますます増えていくことが予想されるし、そんな人たちが安心して暮らせるようにするために考え出されたのが緊急通報システム「ケアライン119」である。

これは一人暮らしのお年寄りなどがペンダント式の無線発信機を常時携帯していて、いざという時にペンダント式発信機のスイッチを押すと無線受信機を通して通報用電話機が自動的に作動し、消防局への連絡が届くしくみになっている。

この緊急通報システムは東京で昭和五十九年四月に開始され、現在全国の約百カ所で行実施されている。

神戸市では昨年十二月にスタートし、今年の二月から活動を始めている。昨年度は百人に機器を

貸与し、今年度は九百人を募集。来年度は千人を募って三年計画で二千個を設置する予定である。利用できる対象者は、六十五歳以上の一人暮らしのお年寄りや一人暮らしの重度身体障害者で緊急事態に機敏に行動することが困難な人、一人暮らしで突発的に生命に危険な病状の発生する持病のある人、またお年寄りだけの世帯で夫婦の一方が以上のような状況にある人、などとなっている。またこの他に、いざという時に駆けつけてくれる近所の協力者が二名必要である。というのは、消防局に利用者から連絡が入った時に、まず近所の協力者へ消防局から通報し、事故の状況やケガ人、病人の状況をつかんでもらい、応急処置をしてもらったり、救急車が到着するまでの間、付き添ったり近所の人と協力して助けてもらったりすることが必要だからである。

今年の九月末までの市内の機器の設置数は五百十五カ所で、内訳を見ると、一人暮らしの病弱のお年寄りで緊急事態に対応の困難な人が三百十一

人で一番多い。男女別では女性が四百十人と圧倒的に多い。最年長は九十九歳で最年少は二十八歳、平均年齢は七十七歳となっている。

消防局の受信センターオペレーションで受信した内容を見ると、緊急のため搬送したのが十三件、うっかり発信機を押してしまったのが二十九件、テストのため三十七件、コンセントを抜いてしまったのが四十三件、相談や話相手のために押したというのも十二件ある。(九月末現在)

では緊急のために実際に救急車で搬送したのはどんなケースだったのだろうか。

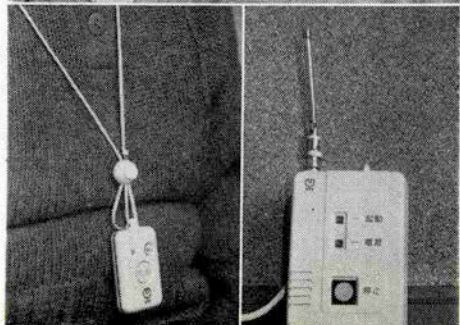
半身不随で車イスを利用しているお年寄りが自宅で転倒し、後頭部挫創(七十六歳男)。自宅の洋式トイレで腰痛のため動けなくなった(七十八歳女)。就寝中両足にしびれを訴え、脳梗塞の疑いがあったもの(九十四歳女)。自宅で転倒、負傷(八十八歳女)。喘息発作で苦しみましたため、同居の夫が通報(七十五歳女)。急に気分が悪くなり頭痛を訴えたもの(七十二歳男)。

ほとんどの場合、近隣の協力者が駆けつけて介護や処置、救急車の誘導などをしている。いざと



上、オペレーションルームの様子  
下、お年寄りに機器の説明をする消防局職員と近隣の協力者

上、緊急通報用電話機  
右、無線受信機  
左下、ペンダント式の無線発信機



いう時、頼りになるのはやはり「遠くの親戚よりも近くの他人」ということであろう。

この「ケアライン119」の取材に消防局を訪ねた時、予防課の濱田 諭さんに受信センターオペレーションルームを見せてもらった。利用者の情報はすべてパソコンに入力されており、二十四時間年中無休で対応できるようにしている。濱田さんがデモンストレーションをして見せて下さっているところどう通報が入った。「おばあちゃん、どうしたの？」と濱田さんが問いかけると「あのー、猫が押ししましたんや」。卓上の緊急通報電話機にもついている非常ボタンを猫が踏んづけたのだ。八月にも、通報が入った家に逆信したが応答がないため救急車と近隣協力者がその家にかけてつけ、救急隊員がベランダより中に入ると留守番をしていた猫が電話機の非常ボタンの上で眠っていた、という実話がある。

「ケアライン119」はまだ始まったばかりだ。いろんな試行錯誤や経験を積み重ねながら、核家族の中で孤立したお年寄りたちの命綱としての心強い役割を果たしていくことだろう。





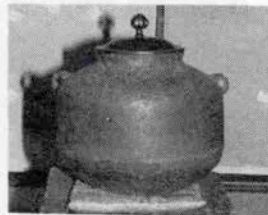
歴史の流れに身をまかせ…  
有馬の散歩は  
アカデミックが似合う

行楽のシーズン到来。有馬の街は今、最高の気候。暑くもなし。寒くもなし。そんな空気の中を、のんびりと有馬散策をするのも粋なもの…と思っていたら、こんなイベントが…。「有馬歴史散歩」。

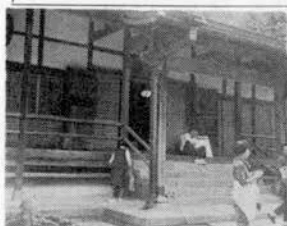
10月15日～17日の3日間行われたこのイベントは今年で4回目を迎えるそうで、湯の街に点在する由緒ある寺社仏閣を訪ねようという、まことに風雅な企画である。

なんでもこの期間は各寺社秘蔵の文化財も展示されるとのこと、早速本誌編集部員も同行取材を…。

今日は計6つの寺社を訪ねる由、まずは第1ポイントの曹洞宗善福寺へ。善福寺といえ、豊臣秀吉と縁の深いお寺。毎年11月2日3日の有馬大茶会に秀



境内にある紅梅は、花はありまにあたごのこぶし、ひがしきどうの未開紅とうたわれの老梅。別名「孕みの梅」とも。  
(林溪寺)



吉公を偲んで、両千家が年毎の交代で献茶する供茶式が行われるといえ、その深さの度合いもわかる。ここでは、有馬と秀吉との深い関りを住職に話してもら

う。  
——たとえば、鎌倉時代までは、この湯の街はかなり栄えていたそうで、清少納言等も訪れていたそう。が、室町・戦国時代と戦の世になると、「温泉にのんびりつかっている場合じゃない!!」というわけで、有馬は急速にさびれた。そこで登場するのが、太閤秀吉殿。西国制覇を目論む彼の疲れを癒したのがこの有馬の地であった。殿のお気に入りだったらしく、正式な文書だけでなく10数回訪れたと記録されている。武

結婚式場を完備しています

伝統と格式を誇る  
向陽閣

景勝高台の近代旅館  
TEL (078) 904-0501代

敷地内から湧きでる  
日本最古の温泉「有馬温泉」

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

欽山は典雅な  
日本風の館です

国際観光旅館

欽山

TEL (078) 904-0701代

力統一故に勢力誇示も1つの作戦、とかなり派手な入湯団体だった。そうで有馬が復活するのも当然。なにしろ、

善福寺前を流れていた川を土木工事で移して道にしたほど秀吉公に愛された有馬なのだ。

ここでは、千利休と秀吉との確執の折羽詰まった中で、天正18年有馬大改修記念の大茶会も行われている。何事にも派手好きの大閤が、利久に鑄造させたという「阿弥陀堂釜」も保存されている。

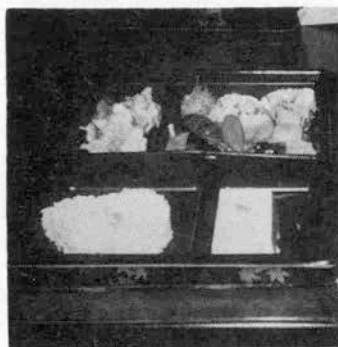
一すつかりアカデミックになったところで次の真宗大谷派林溪寺へ。「孕みの梅」といわれる樹令200年の老梅「未開紅」で有名なこの寺には慶安4年(1651)作の阿弥陀如来像等が奉納されている。

次は日本書記の時代、少彦名命・大己貴命が奉斎されている温泉神社へ。ここは全国でも珍しい西北向き、つまり西方浄土を向いた神社である。何故か?それは、神が降りたつたと云われる六甲山の天狗岩がどこにあるかを見ればおわかりのハズ。浄土宗極楽寺を経て、お向いの



大己貴命・少彦名命が人々を病氣から守る為國々を旅し薬草を捜している時3羽の鳥が入湯しているのを見て、この温泉を発見。(温泉神社)

寺庭には平家物語で有名な沙羅双樹があり初夏の候、満樹白花を開く。朝に咲き、夕に散るこの花と一弦琴の幽玄な響きを楽しむ鑑賞会が毎年開催されている。又、「神戸七福神」の寿老人が祀られている。(念仏寺)



黄檗宗でのみ、中国風の精進料理が味わえる。

な口あたり…。

湯けむりの街の歴史は深い。派手好きの秀吉、ストイックな利休、秀吉の館跡にお寺を作った徳川家鴨川に骨を流してほしいと遺言した親鸞浄土はとにかくパラダイスと説く法然…。何らかの形で有馬に関わり、有馬に足跡を残している。その豊富な、その重み。——こんな温泉、めったにない。

浄土宗念仏寺へ。ここでは本誌でもよく執筆していた永岡住職の講話を伺う。この念仏寺、もとは秀吉の温泉館であつたそう。

ところが、浄土宗の壇家である徳川家が台頭したことにより、念仏寺がこの場所に建てられた、というエピソードがある。念仏寺には有名な沙羅双樹がある。朝に咲き夕に散る諸行無常のこの樹に花がつく6月、是非訪れてほしい。

いよいよ、最終ポイント、黄檗宗温泉寺。ここでは、中国明風の精神料理をいただく。万福寺系統のこの普茶料理のみが中国風であるとのこと、中華料理を想像したが、実際はもっと上品で不思議

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

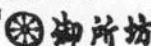
TEL (078) 904-0731

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり  
味に集う



TEL (078) 903-1024

木造りの宿



TEL (078) 904-0551

静寂さにつつまれた  
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675

TELEX 5627-115

スカイライナー

六甲有馬ロースクエー

日本最長、延々、  
五キロの空中旅情。

TEL 078 (891) 0031



# ★神戸の集いから

★演劇一筋、出版記念会

甲南女子中・高等学校の教頭、松尾忠雄さんが戯曲「改稿・花も嵐も」を出版、その記念パーティーが9月26日(水)、午後8時から新神戸オリエンタルホテル・舞子の間で行なわれた。近くの演劇部の顧問を20年近く務め、同ホテル内の劇場で定期的に開催されている演劇祭「新神戸ニューウエーブ・シアター」の実行委員長の肩書を持つ松尾さんの出版記念ということで甲南女子大学の鰐坂学長、宝塚北高校の名生校長をはじめ、演劇部の生徒達が賑やかに集まった。又、くつわとこさんの歌、林晶彦さんのピアノが加わり、アーティスティックな雰囲気包まれたパーティーとなった。



松尾 忠雄さん

★日本ジャズ発祥地・神戸 久保幸造さん個展開く



ジャズイメージを楽しむ皆さん

10月6日(土)午後3時よりコーナーハウスDO2FのギャラリーDOで「久保幸造のJAZZ IMAGINES」のレセプションパーティーが開かれた。同会は「第10回KOBEBE秋の芸術祭」、「第9回KOBEBE JAZZ STREET」のサブイベントとして、神戸市民文化振興財団の賛同のもと、ラジオ関西音楽プロデューサー末広光夫さんの協力で開催された。ギャラリイではジャズの名演の流れるなか、久保さんの描いたジャズメンの絵を鑑賞しつつ、久保さんを囲んで、なごやかな歓談の会となった。

★毎日放送開局40周年 「印象派絵画展」開催

10月9日(火)3時から、兵庫県立近代美術館本館2階特別展示室前で「印象派ーフランス・ドイツ絵画展」オープニングセレモニーが行なわれた。テープカットの後、初公開のブレイメン美術館の所蔵品など、フランスとドイツそれぞれの印象派を代表する40作品を鑑賞した。

レセプションでは、毎日放送副社長の田邊純一さん、在本邦ドイツ特命全権大使のヴィルヘルム・ハースさんが挨拶。他に兵庫県副知事、ドイツ総領事、ドイツから関係者の方々を迎えてドイツワインで乾杯。絵画展の開催を祝った。



流暢な日本語でスピーチ、ハースさん

★六甲RC3周年記念会



3周年を記念して乾杯!

神戸六甲ロータリークラブ3周年記念チャリティーパーティーが10月18日(木)午後6時から新神戸オリエンタルホテル・真珠の間で行なわれた。パーティーは副会長関空童さんの開宴のことばで始まり、会長の上田明さん、来賓で神戸市長代理の石田進さん、特別代表の有澤武さんの挨拶が続いた。同クラブでは記念事業として阪急六甲駅前に楠を植樹。パーティーでは神戸市より植樹の感謝状が授与された他、チャリティーオークション・ゴルフによる寄付金が神戸市に送られた。会は会長エレクト黒澤一晃さんの閉宴のことばの後、「手に手つないで」の全員合唱で締め括られた。

《第5回／三味線音楽シリーズ》●解説と演奏

# 江戸の悪と華

'90  
'91

## 博物館邦楽サロン

各日開場／1時半、開演／2時

前売場所／さんちかプレイガイド、神戸文化ホール、

神戸職域文化連盟、神戸市立博物館

入場料／前売¥900、当日売¥1,000(ミュージアムカード会員¥800)、

いずれも博物館入館料込み。

ただし、初日講演会は無料(入館料¥200のみ必要)。

第2回～第8回の通し券¥5,500。

第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回
解説／佐野漣箕 地 <small>じ</small> 歌 <small>うた</small> 2月16日(土)	解説／小池義人 須 <small>す</small> 磨 <small>ま</small> 琴 <small>こ</small> 1月26日(土)	解説／岡泰正 大 <small>や</small> 和 <small>ま</small> 樂 <small>れ</small> 1月12日(土)	解説／佐野漣箕 長 <small>なが</small> 唄 <small>うた</small> 12月22日(土)	解説／常盤津小欣司 常 <small>とき</small> 磐 <small>いわ</small> 津 <small>す</small> 12月15日(土)	解説／名生昭雄 義 <small>ぎ</small> 太 <small>た</small> 夫 <small>う</small> 12月8日(土)	「色悪」誕生 清 <small>きよ</small> 元 <small>もと</small> 12月1日(土)	「江戸の世紀末・現代の世紀末」 ビデオ上映を まじえて 11月17日(土)
一、新浮舟 一、菊の露 一、古道成寺 一、千代の鶯	一、六種の調 一、春の調	一、江戸祭 一、おせん 一、江戸風流 一、うたまる 一、江島生島	一、お軽 一、浮喜大盡	一、鶴ヶ岡 二、大序 二、段目桃井館 假名手本忠臣蔵(弾き語り)	一、早野勘平腹切ノ段 一、浄瑠璃竹本綾春 一、三味線豊澤雛代 一、假名手本忠臣蔵(六段目)	一、落人 一、かざね 一、清元延きだ世 一、清元延きだ世 一、野口武彦 一、武彦 一、野口武彦 (神戸大学教授)	一、江戸の世紀末・現代の世紀末 (「討入」事件) 一、野口武彦 (神戸大学教授)
中堀菊 彰泉内木聖 紫紫崇公 紗清嶺昭一	山三小 崎浦池 八徳美代子 他子子子	大唄和 三味線久 大和三千世 他満世	杵屋勝之弥 杵屋勝之弥 杵屋勝之弥 杵屋勝之弥 杵屋勝之弥 杵屋勝之弥	大序鶴ヶ岡 二、大序 二、段目桃井館 假名手本忠臣蔵(弾き語り)	一、早野勘平腹切ノ段 一、浄瑠璃竹本綾春 一、三味線豊澤雛代 一、假名手本忠臣蔵(六段目)	一、落人 一、かざね 一、清元延きだ世 一、清元延きだ世 一、野口武彦 一、武彦 一、野口武彦 (神戸大学教授)	一、江戸の世紀末・現代の世紀末 (「討入」事件) 一、野口武彦 (神戸大学教授)

主催 神戸市立博物館・神戸市教育委員会・邦楽鑑賞兵庫県連絡会・神戸市民文化振興財団  
後援 神戸新聞社・サンテレビジョン・ラジオ関西・神戸芸術文化会議・月刊神戸っ子



会場

**神戸市立博物館**

地階ホール

〒650 神戸市中央区京町24 ☎(078)391-0035





## 「住み、働き、学び、憩う」まち 西神ニュータウン

も非常に高い。盆や正月、クリスマスには、華やかなイベントが盛大に行われ、周辺住民にも好評を博している。

「健康で文化的、人間的なふれあいのある街」を目指してきたパティオは10周年を迎え、地元の人たちの生活にすっかり溶け込んでいる。また、昨年は大丸が、今年はパティオがリニールオープンし、多様化、専門化する客のニーズに 대응してくれそうなSCである。

須磨パティオや大丸須磨店がある名谷駅前の広場。いたるところに樹木が植えられており、緑が多いことが特長になっている。買い物客だけでなく、散歩に訪れる周辺住民も多い。



●学生街らしい街づくりを目指す  
研究学園都市

ユニバーシアード神戸大会が開かれたときに、選手村として使われたのが学園都市である。

●健康で文化的、人間的なふれあいのある街、須磨パティオ  
神戸西地域の中でも開発が早くから始まり、入居もほぼ完了している須磨ニュータウンの中心地が地下鉄名谷駅前の須磨パティオである。

21世紀の計画人口を25万とする神戸の西地域。開発当初は、'77年の市営地下鉄の開通（新長田～名谷間）を皮切りに須磨パティオのオープン、ユニバーシアード神戸大会の開催などで注目を集めた。最近では、昨年のブレンティや先月の西神そごうのオープンなど話題は集中するばかり。今後も一層の発展が期待されるこの地域のSC（ショッピングセンター）にスポットを当ててみた。

明るく南欧風の建物、毎週末にイベントが開かれる中庭などの開放的な雰囲気が安全性と快適性を印象づける。専門店街と大丸、ダイエーが隣接し、駐車場も2千台収容可能であることなど、利便性

この街の中心に位置するキャンパススクエアは、アメリカ風のコロニアル・スタイルのSCだ。ダイエーや約50の専門店・飲食店、そしてユニバードームが若々しい雰囲気を出す。ここは、これからの増加する学生数や住民数に対応するために、規模をさらに大きくすることが予定されている。

また、学生や大学の職員と地元の人たちが交流できるようなコミュニティセンターも計画されており、キャンパススクエアが本来の意味での中心地となる日も近い。そうなったとき、学園都市は街全体でひとつの総合大学を「形成」することになる(周辺の4大学はいずれも単科大学である)。

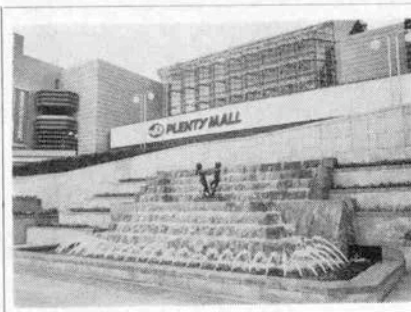
キャンパススクエアと隣接するユニバードーム。ここでは様々なイベントが開かれる。学生の利用も多いが、「一般の人たちも一緒に楽しめるものをもっとやってもらえれば」と、担当者は話す。



## ●「夢市場」のブレンティと「ハイ・カジュアル主義」の西神そこう

地下鉄の終点西神中央駅を出ると、正面に西神そこう、左手に中央広場、ブレンティが広がる。

「上質の衣・食・住・遊・知を提供する」ブレンティは、単なるショッピングゾーンだけでなく様々な施設を備えている。写真は、中央広場にある噴水。



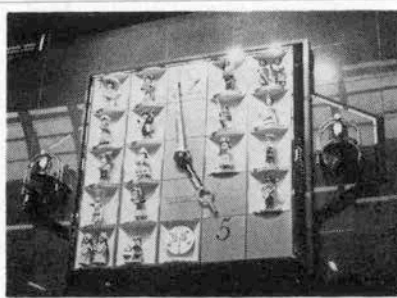
「上質なゆとりと快適な生活」を創造・提案し、暮らしの夢を広げるブレンティは、120の専門店とダイエー、そしてスポーツセンター、2千500台収容の駐車場など様々な機能を持ちあわせており、西神ニュータウンの中心地にふさわしいSCだ。

また、10月にオープンしたばかりの西神そこうは、高級志向の新しい郊外百貨店である。1階の食料品フロアには約40店舗が並び、

なかでも「バントリート1」はこだわりのある素材を使った商品が人気を集めている。2、3階の紳士服・婦人服・子供服のフロアには従来の郊外百貨店にはなかったブランドが取り揃えられていたり、5階のレストラン街には高級店も多い。

「ハイ・カジュアル主義」を前面に打ち出した西神そこうもブレンティとならんで新しい街に欠かさないショッピングゾーンである。

西神そこうの正面玄関を飾る「イッツ・ア・スモールワールド時計」。これは、民族衣装を着た人形が毎時とともに現れ、テーマソングにあわせて踊り出すミュージメント感覚を醸成する「かざり時計」。



ここで紹介したSCは、いずれもニュータウンに多く住む団塊の世代をターゲットにしている。「豊か」になったといわれる今の生活をこれからの街に演出してくれるか、大いに楽しみである。